

令和6年度 自己評価

令和7年3月

土崎カトリックこども園

1. 今年度の園運営について

令和6年度は、以下の新しい取り組みのもとに、園運営が行われました。

- 保護者の勤務先等の都合により、より長い時間の保育を望む声にこたえて、開園時間を7時30分から7時00分に、閉園時間を18時30分から19時00分に変更した。
- 保育教諭をはじめとする職員の作業の効率化および保護者の利便性を目指して、保育ICTシステム「キッズビュー」を導入し、保護者にスマートフォンによる利用登録のお願いを行った。
- 3歳以上の2号保育認定園児が増え、預かり保育の利用人数が多くなったことから、これまでの教育担当職員と一時預かり担当職員の垣根をなくし、学年ごとにチームで保育にあたった。

以上の取り組みをはじめとする令和6年度の園運営に対して、職員・保護者・学校評議員による評価を行い、それらの結果を踏まえながら、園として教育保育方針が達成できたか自己評価を行いました。

2. 個別の評価項目について

評価項目	評価ポイント	評価	職員		保護者		評議員 A~C評価
			件数	%	件数	%	
教育目標・保育	園の教育目標のもと、集団生活の中で一人一人の発達の過程や様々な姿を捉え、その状況を踏まえた援助や指導が行われていたか。また、発達の見通しや活動の予想に基づいて環境を構成していたか。	そうだと思う	14	47%	115	88%	A
		だいたいそう思う	16	53%	14	11%	
		あまり思わない	0	0%	1	1%	
		分からない	0	0%	0	0%	
		合計	30	100%	130	100%	
保健・安全指導	子どもの発達の特性を理解し、伸び伸びと行動できるように職員が危険を取り除いたり、自らの力で安全に行動する能力を身につけたりできるように健康及び安全に過ごすための取り組みが行われていたか。	そうだと思う	15	50%	122	94%	A
		だいたいそう思う	15	50%	8	6%	
		あまり思わない	0	0%	0	0%	
		分からない	0	0%	0	0%	
		合計	30	100%	130	100%	
園内研修・外部研修	子どもの発達の姿を捉えるための園内研修を定期的に行ったり、日々の子どもの姿について話し合う機会や外部研修で得た情報を職員間で共通理解するなどの教育・保育の質の向上に努めていたか。	そうだと思う	14	47%			A
		だいたいそう思う	15	50%			
		あまり思わない	1	3%			
		分からない	0	0%			
		合計	30	100%			
家庭・保護者との連携	保護者との情報交換の機会を設けたり、連絡帳(保育部)を活用したりしながら日々の子どもの姿や成長を伝え合い、家庭との連携を密にし、信頼関係を築くことができていたか。	そうだと思う	12	40%	106	81%	A
		だいたいそう思う	18	60%	22	17%	
		あまり思わない	0	0%	2	2%	
		分からない	0	0%	0	0%	
		合計	30	100%	130	100%	

評価項目	評価ポイント	評価	職員		保護者		評議員
			件数	%	件数	%	A～C評価
職員間の連携	定期的なカンファレンスを行ったり、情報交換や意見交換などをしたり、保育者同士コミュニケーションを取り合いながら連携した保育・教育ができていると感じているか。	そうだと思う	8	27%			A
		だいたいそう思う	20	66%			
		あまり思わない	2	7%			
		分からない	0	0%			
		合計	30	100%			
行事について	園の行事や活動、保育参観など、日々の園生活に配慮し子どもが期待や意欲がもてるような行事内容であったか。また、子どもや保護者同士が交流する場になっていたか。	そうだと思う	13	43%	105	81%	A
		だいたいそう思う	17	57%	25	19%	
		あまり思わない	0	0%	0	0%	
		分からない	0	0%	0	0%	
		合計	30	100%	130	100%	
地域との連携	小中学校生とのふれあい、公共施設の訪問など、学校や地域の人達との交流を積極的に行っていたか。	そうだと思う	4	13%	75	58%	B
		だいたいそう思う	19	63%	44	34%	
		あまり思わない	2	7%	10	8%	
		分からない	5	17%	0	0%	
		合計	30	100%	129	100%	
子育て支援	園開放日、未就園児のコアラちゃん教室、あずかり保育など、保護者のニーズにあった活動や支援ができていたか。	そうだと思う	17	57%	94	72%	A
		だいたいそう思う	12	40%	36	28%	
		あまり思わない	0	0%	0	0%	
		分からない	1	3%	0	0%	
		合計	30	100%	130	100%	

評議員評価 A: そうだと思う B: だいたいそうだと思う C: あまり思わない

結果
A

3. 園としての総合評価と、来年度に向けて

個別の評価項目の結果を踏まえて、令和6年度の自己評価を右の通りといたしました。

「1. 今年度の園運営について」でも述べました通り、令和6年度は園運営において新たな動きがあった1年でしたが、職員・保護者・学校評議員の方がたからは全体的により評価をいただきました。

保育時間の延長については、すでに在園している子どもの保護者には以前の保育時間帯での生活となっているため、現在のところ利用者は多くありませんが、今後利用者が増えてくるものと思われま。

保育ICTシステムは、昨年度末の試用期間を経て、今年度から本格的に運用を始めました。保護者には子どもの登園・降園の際にスマートフォンにてQRコードの読み取りをお願いしましたが、大きなトラブルもなくご利用いただいているものと思います。また職員においては、これまでの仕事のあり方が大きく変わり、作業の効率化とともに、情報のデータ化、共有化ができました。今後も利用範囲を増やしていく予定です。

3歳以上児に対する保育教諭のかかわり方の見直しについては、幼稚園の時代からこれまで大切にしてきた教育活動を保ちつつ、長い時間をこども園で過ごす子どもたちに目を向けることで、子どもたちの成長をより広い視野で見つめることができました。一方、保育教諭の負担が大きくなることなく、子どもたちに目を向けることを第一に、これからも保育教諭のふさわしい協力体制を構築してまいります。

また令和6年度は、新たに年に数回の園見学会を設けるとともに、ホームページのリニューアルや公式Instagramの開設などを通して、園のようすを多くの皆様にお伝えすることができました。子どもたちと園の魅力をこれからも伝えることができるよう、情報の発信を積極的に取り組んでまいります。

以上の新たな動きの中で、それぞれの項目に対して取り組んだことで、おおむね満足できるものであったと評価しておりますが、地域との連携については課題を残しています。警察署・消防署などの方がたとのふれあいや、実習や体験等で来園する学生・生徒との交流はあるものの、コロナ以前のような施設訪問の再開にまでは至っていません。地域の方がたとともに歩むこども園として、コロナ以後の今後のあり方を改めて検討していきたいと思っております。